

企業会計(水道事業・下水道事業)

令和5年度水道事業の決算(消費税を除く)		
	収入	支出
収益的収支	* 営業収益 16億9323万円 * 営業外収益 1億866万円	* 営業費用 14億1648万円 * 営業外費用 1012万円
資本的収支	* 負担金 1683万円	* 建設改良費 6億9344万円

	収入	支出
収益的収支	* 営業収益 17億8940万円 * 営業外収益 5億5647万円	* 営業費用 19億8858万円 * 営業外費用 3838万円
資本的収支	* 企業債 2億4090万円 * 他会計補助金 1億3085万円 * 負担金等 70万円 * 補助金 1億7835万円	* 建設改良費 6億1219万円 * 企業債償還金 4億1656万円 * 投資その他資産 5万円

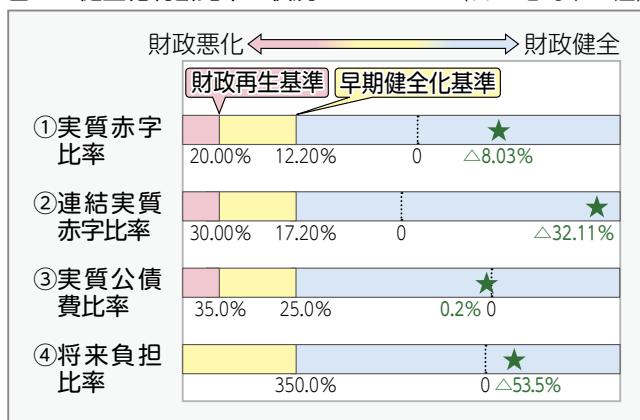
水道事業・下水道事業会計は、複式簿記(①)を採用しており、収益的収支(②)と資本的収支(③)からなっています。5年度の決算の状況は左の表のとおりです。

水道事業の収益的収支では3億7529万円、下水道事業の収益的収支では3億1891万円の純利益を計上しました。これは将来の資本的収支の不足額に充てられます。

5年度は、4年度に続き、災害に強い水道施設を整備するための工事や、污水管の浸入水対策工事などに取り組みました。

今後も、業務の効率化と適切な施設投資に努めています。詳しく述べ、水道事業会計については水道部業務課 543 6 1 11、下水道事業会計については下水道課へ。

図1 健全化判断比率の状況 (★=昭島市の値)

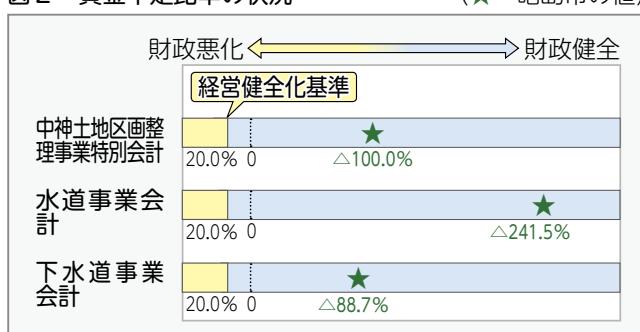


※いずれも、市の財政規模に対する①一般会計・中神駅北側地域整備事業特別会計の赤字額の割合、②一般会計に特別会計などを含めた全会計の赤字額の割合、③全会計の借金の返済に充てた税など一般財源の割合(3か年平均)、④地方債(借金)残高など将来負担すべき実質的な負債の割合です。

※①・②は赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。

※④は負債の程度を示す指標のため、将来負担額を充当可能財源などが上回った場合は△(マイナス)表記となります。

図2 資金不足比率の状況 (★=昭島市の値)



※赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。

令和5年度決算に基づく財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政破綻を防ぐために国が定めた基準により、市では各指標を公表しています。この指標が「早期健全化基準」を超えると財政健全化計画の作成などが義務付けられ、悪化した市の財政を建て直すことになります。

5年度決算における一般会計及び特別会計の赤字額はなく、健全化判断比率は図1のとおりです。いずれの会計も赤字額はなかつたため、経営健全化基準を下回り、「健全化」という結果になりました。

しかし、物価高騰に係る経費の増加や公共施設の老朽化への対応などが見込まれるため、市の財政状況は、「健全」ではあるものの余裕はない状況です。今後も健全化判断比率と資金不足比率の各指標が「健全」な水準を保つことができるよう、将来を見据えた計画的な財政運営に努めます。

☆詳しく述べ、財政課へ。